



## 姉妹都市交流親善団交流体験記

中学生団員12名を中心に構成された三好市姉妹都市交流親善団16名が、昨年の10月29日から11月4日までの7日間、姉妹都市であるアメリカ合衆国オレゴン州ザ・ダルズ市などを訪問しました。ホームステイをすることで、アメリカの大自然や文化に身近に触れるとともに、多くの人々とのコミュニケーションを通じて、新たな友情が生まれる貴重な経験となったようです。



**初**のアメリカ体験。ダルズ

高校での授業やピザ作り、ハロウィンや農場での触れ合い、アイススケートなど、どの体験も心から楽しむことができ、人の温かさは共通なのだとは分りました。日本料理店や日本の企業もあり日本のつながりを感じ感動しました。今後日本の良さを発信して欲しいと思いました。自分の視野も広がり、将来国境を越えて活動したい、もっと英語を勉強し海外を訪れたい、外国の方々が日本にいらした時は、真心を持って日本の良さを紹介したいと思える有意義な体験でした。

(池田中3年 井本健斗)

**英**語での入国・出国審査、

高校生との交流やハロウィンなど初体験の連続でした。ホームステイした家は息子さんと娘さんが日本語を勉強していて、日本語でも少し話すことができました。二人は日本のアニメが好きで、日本の文化などにも興味を持っていました。今回、私が強く思ったことは、「自分から話しかけることが大事」だということです。つたない英語で

も現地の方々は話を聞いてくださって言葉や文化が違っても、分かり合おうとすること、人と人はつながれるということを実感しました。

(山城中3年 大野花香)

**期**待で胸がいっぱいの姉妹

都市交流。ホストファミリーのお父さんとお母さんは優しくすぐ打ちとけることができました。オレゴンの観光名所に行った時やお別れパーティの時などいろいろな場面でダルズ市の方々の優しさやつながりの強さを感じました。大自然に囲まれていて、私の住む東祖谷のようにとっても素敵な場所でした。異文化を体験することで将来への視野が広がりました。団員とのつながりをこれからも大切にしていきたいです。

(東祖谷中3年 河井望歌)

**不**安で、迷惑をかけてう

まくなじむことができなかったらどうしようと思っていました。ホームステイ先では常に笑顔で優しく声をかけてくれたり、困っていることがあると分かりやすく教えてくれたりしてとてもうれしかったです。

**母**国を離れ、初めて行くア

メリカという国で、私が一番学んで大きかったことは、日本の良いところがあらためて実感できたことです。治安に対する不安から、すりにあたりするものが怖くて、バッグもずっと抱きかかえていました。日本では、すりなどの心配もいらず、なんのありがたさも感じていませんでした。でもあらためて日本への感謝の気持ちを持つことができました。アメリカに行つて、アメリカよりも日本のことの方が分かるなんて、思っています。こんなに、素晴らしい経験ができて、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

(山城中3年 絆地茉優)

**人**の心の温かさや優しさを

この交流で感じました。分からない言葉があると、ゆっくり話してくださいたり、機械を使って英語を日本語に翻訳してくださいたりともありがたかったです。ショッピングセンターはとも大きく、たくさん品物があり、サイズも大きくて驚きました。最初は分からなかった会話の内容も、少しずつ理解していくことができたので、少しは成長できたかなと

す。英語を聞きとることもうまくしゃべることもできませんでしたが、ダルズ市の方は笑顔で嫌な顔を一切せず接してくれました。驚くこともたくさんありましたが、アメリカの文化についてたくさん知ることができ、どの体験もとても楽しい思い出ばかりです。

(山城中3年 長岡泉)

**ア**メリカへ留学経験がある

母や親善団として留学した先輩から強く勧められ参加しました。地元の高校を訪問したり、ガラス作りやピザ作りも体験。一番苦戦したのは、マクドナルドで英語で注文したことです。最初は不安でしたが、何とか欲しいものを注文することができました。言葉が通じなくても身振り手振りでコミュニケーションをとるだけで、異文化の世界の中でも普通に生活ができることを学ぶことができ、この経験は将来にとってもプラスになると思いました。

(三野中2年 河内優)

**ダ**ルズ市は自然の溢れる気

持ちいいところで、町を歩きながらのトリック・オア・シンクス。それに友達とも仲を深めることができました。私たちがのために協力してくださいました。方々や、家族に感謝し、今回の体験を自分の将来に生かしていきたいと思えます。

(山城中3年 正口紗智)

**学**校で習った英語が通じる

のかなど不安でしたが、実際に試してみると優しく心配りができるアメリカの人たちに何度も助けられました。僕がレジで会計にもたついても、後ろに並んでいた人が「ゆっくりでいいよ」と笑顔で言ってくれました。ドルでの支払いも初めてで心配でしたが、できるようになったのでよかったです。ホストファミリーには本当にお世話になりました。完璧に英語がしゃべれないので、会話は多くできませんでしたが、また会ったときには英語をマスターしてもっと会話したいと思えました。

(三野中2年 武田幸樹)

**日**本とアメリカの文化の

いろいろな違いを学びました。日本ではごはんが普通に食卓に並ぶけれど、アメリカでは、ごはんが食卓にありません。日本人と違いアメリカの人はあ

トリートはたくさんの方が仮装をしていてアメリカならではの文化を感じました。ホストファミリーとの時間では映画と一緒に泣いたり、たまに寝たりとそこでホストファミリーとの心が通じたような気がしました。長いようで短い一週間はあっという間で、来てよかったと思うのと同時に支えてくれた人に感謝の気持ちでいっぱいでした。

(三野中2年 井口世里菜)

**交**流を通じて、日本との文

化の違いを学ぶことができ、ハロウィンでは実際に仮装して、いろんなお店をまわってすぐく思い出に残りました。ホストファミリーの方たちも優しく食事中も会話が絶えることはありませんでした。アルバムや動画を見せながら学校や家族、友達、自分がしているスポーツなどの話をする、すぐく親身になって聞いてくれて、参加できて本当に良かったと思います。ホストファミリーの方や協力してくださいました方々、本当にありがとうございました。

(西祖谷中3年 谷口萌衣子)

まり箸を上手に使えていなかった。箸は日本の文化の一つなのだろうと思えました。ゴールデンゲートブリッジなどの名所にも行くことができ、一週間英語の世界で過ごすことで、海外に行く前の自分と比べようのないほど、英語が聞き話せるようになりました。今回のホームステイで自分の視野が広がって貴重な経験を最大限に生かしていきたいです。

(三野中2年 細川将希)

**ダ**ルズ市に行つて、たくさん

の事を見て聞いて、感じて学ぶ事ができました。特に、ホストファミリーのアンバーさんには、ショッピングモールやゴルフに連れて行っていただき、大変お世話になりました。アメリカならではの食事やハロウィンのイベントはとても良い思い出になりました。ダルズ市の建物の数や町の大きさは、あまり三好市と変わらないように思えました。しかし、予想以上にたくさんの教会がある事に驚き、文化の違いを実感しました。この経験から学んだ事を、生活で有効に使い全ての方々に心から感謝したいと思います。

(池田中2年 福田和奏)